

がんばる
皆さんを応援!

株式会社K-DIC (ケイ・ディック)



▲まちのパン屋「にじパン」では、焼きたてのやわらかくて甘いパンを揃える



▲まちのイタリアン「ハレルーヤ」では、県産コシヒカリ米粉を使ったナポリピザをはじめとする多彩なメニューを開催

創業133年、地域のために

K-DICの原点は、明治35年創業の「黒田金物店」です。昭和40年代に家電販売を始め、「まちのでんきや」として事業を広げてきました。

「当社はこれまで、『地域に根付いたお客様に寄り添った事業』を強みとして事業を進化させてきました。今夏はイタリアンレストランを開業。「地域の人があつたに集う場に」と意気込む4代目社長の黒田保光さんにお話を伺いました。

アンレストラントを開業。「地域の人があつたに集う場に」と意気込む4代目社長の黒田保光さんにお話を伺いました。

アントラントを開業。「地域の人があつたに集う場に」と意気込む4代目社長の黒田保光さんにお話を伺いました。

多彩な事業を展開する会社です。創業から133年、時代の変化に応じながら事業を進化させてきました。今夏はイタリアンレストランを開業。「地域の人があつたに集う場に」と意気込む4代目社長の黒田保光さんにお話を伺いました。

7月7日、本社ショールームの一角に「まちのイタリアンハレルーヤ」がオープンしました。にじパン開店後、「次は仲間と楽しく語り合いながら食べる場所をつくりたい」と、温めていた構想を形にしました。

「かつて、『まちのでんきや』は近所の人があつたりと立ち寄り、お茶を飲みながら世間話をしています。そんな地域のつながりを取り戻したい。『明日晴れるや、と願いを込めた店名のように、ハレの日を気軽に祝うような場所になればと考えています』

店では、ピザやパスタのほか、パンを食べ放題で提供。前菜やドリンクも揃え、気兼ねなく楽しめるよう、価格にも配慮しました。カウンター席

やテーブル席に加え、小上がりやペツト同様可能なテラス席も備え、誰もが心地よく過ごせる空間です。また、能登半島地震で倒壊した建物の木材を利用する活動に共感し、その木材を用いた壁や家具として活用しています。

◎ 地域貢献と次世代への想い

平成21年に社長に就任し15年以上にわたり、PTAや青年経済団体の取り組み、学校での講演やキャリア育成支援に関わり続けてきました。「地域に支えられてきた恩を次世代へつなぐことが役割」と語ります。

「私が子どもの頃は、周りの大人たちが声をかけてくれました。地域のつながりのなかで助け合い、生活の安全が守られていたことを実感しています。子どもは地域の宝物。県外へ転出しても、地域への恩返しの気持ちが芽生えれば、また戻ってきてくれると思うのです」

にじパンは富山市月岡地区に2号店(月岡店)を構え、パンの自動販売機は食堂が閉鎖した4つの高校に続き、今年、県立中央病院にも設置しました。パンの海外進出や観光客園の再生、グランピング施設事業も計画中です。尽きることのない挑戦の中には夢のように思われることもありますが、想いを口に出すことで応援してくれる仲間が広がっていくんです」と黒田社長は語ります。補助金申請に係る事業計画の

K-DIC 株式会社K-DIC
(ケイ・ディック)

■主な事業内容
家電販売、電気工事、パンの製造・販売、イタリアンレストラン
住所 富山市西田地方町2-12-3
☎ 076-425-8650
にじパンは076-424-5900
○家電販売、電気工事
営業時間 9:30~18:00 定休日 水・日曜
○ハレルーヤ
営業時間
11:30~15:00(L.014:30)
17:00~20:30(L.020:00)
定休日 水・木曜
○にじパン 本店
営業時間 9:00~17:30
(なくなり次第終了)
定休日 水曜



作成等は当所も支援しています。
にじパンもハレルーヤもあえて職人に頼らず、効率的な仕組みで誰もがやりがいをもって働ける環境を整えました。多忙なときにはスタッフ同士が事業の垣根を超えて、互いに助け合っているそうです。その姿勢はまさに地域「ミニユーニティ」のあり方を体現するもの。「地域「ミニユーニティ創造企業」として「お客様の家族となり、暮らしに喜びを届ける」理念を胸に挑戦を続ける「K-DIC」を、当所はこれからも応援していきます!

▲ハレルーヤの店内／貸切のほか、シアタールーム、2階イベントスペースも含めて、多様なリクエストに応える



▲ハレルーヤの店内／貸切のほか、シアタールーム、2階イベントスペースも含めて、多様なリクエストに応える